

基調講演

ドイツにおける継続教育—発展と改革への提案

デューズブルク・エッセン大学社会学部教授 労働・職業資格研究所

ゲアハルト・ボッシュ



ドイツには、「デュアルシステム」と呼ばれる、職業基礎訓練教育がある。これは、35歳未満の若年者を対象とした人材育成プログラムで、週3日を企業で、残り2日を専門学校で学ぶ、まさに「働きながら

また、キャリアアップのための「マイスター制度」も存在する。これは、バチエラー(学士)の資格に値するもので、各分野における高い技術力を持つスペシャリストを育成するプログラムである。このように、ドイツの労働市場においては資格がものをいう。資格さえあれば、どこでも同じ仕事に就くことができ、転職しても収入が減ることなく、次の会社に移ることができる。

学べる」職業訓練制度である。銀行員、機械工、ITエンジニア、事務職をはじめ323の職業が対象であり、デュアルシステムによって2〜3年間学んだのち、最終的に試験を受けて国家資格を取得する。この国家資格は国全体で標準化されたもので、各自のスキルを把握するための基準となる。各労働局は就職希望者や失業者に対して職業を斡旋しやすく、また個人が学び直したい場合、すべてをやり直さなくても、希望の職業訓練に参加し、別の資格を取得することで、専門領域を拡げることができる。

また、ドイツには産業分野ごとに大規模な労働組合が存在し、非常に強い力を持つ。産業分野ごとに労働協約が定められており、継続教育の在り方については各事業所の代表委員会が決定できる。日本の場合、企業ごとの労働組合であり、労働協約は正規の社員のみが対象となるケースが多いが、ドイツでは、パートタイムなど非正規を含むすべての働く者に対して適用される。

2004年から2007年のフェーズ2、ドイツの経済が大きく成長した2007年からのフェーズ3の時代は、雇用需要が多く、急いで仕事に就いてももらわなくてはならなかったために、継続教育には力を入れてこなかった。

そして、2016年から現在に至るフェーズ4で、継続教育が優先される時代に突入した。そのきっかけとなったのが「インダストリー4.0」である。インダストリー4.0ではスマート工場を中心としたエコシステムの構築が目標とされている。ドイツ政府はこれを遂行するために学術・産業界から、知識人、有識者を招き議論を行った結果、テクノロジーを進化させるため、継続教育に対する投資の重要性が説かれたことから、ドイツ政府は継続教育の支援を強化するべく舵を切ったのである。

もう一つ、現在の世界的なトレンドとして「グリーントランスフォーメーション」がある。グリーントランスフォーメーションはCO2削減を目標に、計画的に経済を変革させていくもので、ドイツにおいては石炭や化石燃料の代替として水素技術への転換を図ること、また、電気自動車を製造していくことと国が定義している。

例えば、フォルクスワーゲンは2030年に内燃機関の自動車製造をやめることを宣言した。その代わりに、バッテリーの工場を作り、現在内燃機関関係のパーツなどを作っ

ている工場を電気自動車のコンポーネントを製造する工場に転換することをめざしている。これは自動車業界だけでなく、建築業界、化学業界など工業界に広く該当することである。

こういった動向に伴い、従業員は新しいスキルを学ばなければならぬ。そのために重要となってくるのが「社内での継続教育」である。ドイツでは転職(解雇)を行うと企業にお金がかかるため、雇用を続けるための対策として、社内の人材の資格や教育レベルを上げるため、継続教育を行うという動きが活発である。国からの助成金も用意されているため、力を入れて取り組む企業は多い。

このような産業の転換がある一方で、今後労働人口の減少が予想されている。今の労働人口をできるだけ維持するため、ドイツ政府は年金受給開始年齢を67歳に引き上げた。また、職業教育修了資格を持たない人が240万人いることも課題である。あまり学歴が高くない人は学ぶ習慣がなく、金銭的、時間的な余裕がないため継続教育に興味を持たない人が多い。「学び直し」の機会を与えるためにも今後はより一層、継続教育を受けやすい仕組みが必要である。

Profile
ゲアハルト・ボッシュ

● 1947年生まれ、ケルンで経済学と社会学を学び、1977年にドルムント大学で博士号、1991年にオスナブリュック大学で教授資格を取得、1993年よりデュースブルク・エッセン大学社会学部教授、1993年から2006年までケルン・エッセンの労働・技術研究所所長を務める。2007年、デュースブルク・エッセン大学に労働・職業資格研究所「IAO」を設立し、2016年まで所長。以降、IAOの上級教授として勤務。OECD、欧州委員会、複数の連邦省庁の顧問も務める。